



議会だより

第 139 号

平成26年2月15日発行

議会構成決まる	2～ 3
平成 24 年度各会計決算認定について ...	4～ 6
こんなことが決まりました	6～ 9
一 般 質 問	10～13
議会活動日誌	14



成人のみなさん おめでとう

議会構成決まる

議長に市原重光議員・副議長に市原裕一議員 第1回臨時会1月20日開催

平成26年第1回臨時会は、1月20日に開催され議案1件を審議し可決しました。
また、各種選挙を行い議長に市原重光議員、副議長に市原裕一議員が選任された後、各常任委員会などの構成が決定しました。



議長
市原重光

議長あいさつ
早春の候、町民の皆様方には、健やかに過ごしのこととお喜び申しあげます。
平成26年1月20日、第1回臨時会において、議員多数のご信任をいただき、議長に就任いたしました。身に余る光栄でありその責任の重さを痛感いたしております。

日本経済は、緩やかに回復しているとの判断から、家計所得や投資が増加し、景気の回復基調が続くことが期待されています。今後さらに、企業収益が賃上げの形で国内のすみずみまで還元されることが大きな課題となっております。

また、地方分権が進展するなか、地方自治体の自己決定、自己責任の範囲が拡大し、町議会の果たすべき役割は益々重要となつてまいります。町議会においては町政を取り巻く環境の変化を的確に捉え、議員一人ひとりがその責任を自覚し、町民の信頼と負託に応える議会をめざし、全力で取り組んでいく決意でございます。

どうか町民の皆様方におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長
市原裕一

総務常任委員会

- 委員長 中村義徳
- 副委員長 麻生安夫
- 委員 幸治正雄
- 市原裕一

産業建設常任委員会

- 委員長 幸治孝明
- 副委員長 田中憲一
- 委員 荻野新衛
- 岡澤宏一

教育民生常任委員会

- 委員長 今関澄男
- 副委員長 田邊明佳
- 委員 市原時夫
- 市原重光
- 清野彰

議会運営委員会

- 委員長 中村義徳
- 副委員長 今関澄男
- 委員 市原裕一

長生郡市広域市町村圏組合議会議員

- 市原重光
- 岡澤宏一
- 田中憲一
- 田邊明佳
- 幸治孝明

一宮聖苑組合議会議員

- 幸治孝明

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員

- 今関澄男

議会選出
監査委員

今関 澄男

農業委員会委員

幸治 正雄

議会改革
特別委員会

委員長 市原 裕一

副委員長 中村 義徳

委員 ほか全議員

議会図書室
運営委員会委員

中村 義徳

幸治 孝明

今関 澄男

議会だより
編集特別委員会

委員長 幸治 孝明

副委員長 清野 彰

委員 田邊 明佳

” 麻生 安夫

各種委員の推せん

行政改革
推進委員会委員

市原 重光

情報公開審査会委員
個人情報保護審査会委員

中村 義徳

防災行政無線
運営委員会委員

麻生 安夫

長南町ガス事業
運営協議会委員

市原 重光

市原 裕一

中村 義徳

幸治 孝明

今関 澄男

地域振興審議会委員

岡澤 宏一

田中 憲一

国民健康保険
運営協議会委員

田邊 明佳

障害者計画
推進協議会委員

清野 彰

高齢者保健福祉計画
推進委員会委員

麻生 安夫

民生委員推せん会委員

幸治 正雄

健康づくり
推進協議会委員

田邊 明佳

かずさ有機センター
運営協議会委員

市原 重光

幸治 孝明

ふるさと
推進協議会委員

田中 憲一

環境審議会委員

中村 義徳

清野 彰

農業集落排水事業
建設委員会委員

荻野 新衛

田中 憲一

公民館運営
審議会委員

市原 時夫

社会福祉協議会
評議員

今関 澄男

シルバー人材センター
運営委員会委員

荻野 新衛

社会を明るくする運動
睦沢町推進委員会委員

市原 重光

今関 澄男

学校等問題調査
検討委員会委員

市原 重光

今関 澄男

麻生 安夫

田中 憲一

12月定例会

平成24年度一般会計ほか5特別会計決算を認定 若者定住促進対策、災害・防災対策、地籍調査

平成25年第4回定例会は、12月19日に開催されました。決算審査特別委員会に付託された平成24年度各会計決算を認定、提出された8議案が質疑の後可決されました。

一般質問は4議員が行い町政の課題を問いました。

決算の認定

(認定第1号)

平成24年度睦沢町一般会計ほか5特別会計歳入歳出決算

9月議会定例会において決算審査特別委員会に付託され10月3日、4日の2日間にわたり審査されました。12月定例会において、委員長から結果報告、討論・採決により、それぞれ認定されました。



建設が進むリバーサイドタウン

決算審査特別委員会

審査結果報告

委員長 幸治 正雄

9月議会において審査を付託された平成24年度各会計決算は、慎重審議の結果、次の指摘要望事項を付して、原案の通り認定することに決定しました。

○審査の対象

平成24年度一般会計ほか5特別会計決算

○審査の方針と方法

予定された事務事業が計画通り執行されたか。また、その効果等について各常任委員会所管の事務事業ごとに審査を行いました。

○指摘要望事項

一、自主財源の確保は財政運営の安定性と行政活動の自主性を確保する上で極め

て重要であることから、町税、国民健康保険税、介護保険料等について、初期滞納への十分な対応を行うとともに、納税者等の個別事情に応じたきめ細かい収納対策を講じ、収納率の向上に努められたい。

二、財政については、各種財政指標が示すとおり厳しい状況にあることから、自主財源の確保はもとより、住民ニーズに基づいた事業を展開する上で、補助金等の公費財源の確保に努められたい。

三、睦沢町応援寄付金(ふるさと納税)制度の充実を図るとともに、ふるさと睦

沢の情報発信・PRに努められたい。

四、路線バス、町民巡回バスなど、町内公共交通のあり方について、新たな交通システムの導入など、積極的な施策展開に努められたい。



寺崎からの日の出

一般会計

反対討論

市原時夫議員

論

緊急雇用創出事業の活用、海拔表示をはじめ防災対策での前進、放射能検査体制、病児保育の助成、職員の自主性を生かした被災地支援、引き続き子育て支援施策、まちづくり委員会など改善の余地を残しながらも、住民参加型の町政運営の努力を評価する。

一方、住民の安全を見た場合、原発廃炉は全自治体が進めるべきであり自然と人にやさしい再生エネルギーの活用に積極的に施策



川島地区にある排水機場

を進めるべきである。また、暮らしを守る点から雇用確保および条件の改善、創出への取り組みが弱い。

さらに、福祉・医療の負担増など自治体の権限で独自にどう住民を守るのか問題を残している。

国政から住民を守る視点で、子育て支援、まちの誇りと歴史、特徴を生かした取り組みと発展を求め反対である。

賛成討論

今関澄男議員

厳しい財政状況のなか町税など懸命な自主財源の確保に努めたものの多く望めない状況にある。補助金など財源の確保、緊急経済対策を活用、各種施策に積極的な取り組みがみられる。また、財政調整基金の増額、町の地方債の減額等により財政指標の改善を評価する。

若者定住賃貸住宅への着手、子育て世代への住まいづくり、定住への取り組み、むつみニュータウン内の汚水処理施設の調査修繕計画

を評価する。農業・稲作対策、福祉対策、加えて教育環境整備、防災対策に積極的に取り組んでおり、財政の健全化と財源の最大活用を願う賛成である。

国保特別会計

反対討論

市原時夫議員

睦沢町の国保税の徴収率の高さは、町民のみなさんが行政と協働で町づくりを進める思いの表れである。その中で資格証明書方式の導入、短期保険証の発行など町は町民の重い負担に答えていない。

国政が医療・福祉の後退を進めている時だからこそ自治体の特徴を生かし住民の命を守る施策に積極的に取り組むことを求め反対である。

賛成討論

幸治孝明議員

国民健康保険は国民皆保険の根幹をなしている。国保を取り巻く財政環境が厳

しいなかで一般財源から繰り入れも行わず、繰越金等を勘案し、基金確保もなされ町民の暮らしを支える制度としての役割を担っている。

今後も国保税の収納率の向上に努力するとともに保健指導を一層推進し健康保持と医療費の抑制に努めていただきたい。「健康長寿のまちづくり」を目指し町民が健康で長生きできるように安定した国民健康保険の運用を願う賛成である。

介護保険特別会計

反対討論

市原時夫議員

介護保険制度の枠内にとどまらない福祉施策への取り組みに対し最前線に立つ人をはじめ、行政の努力を評価する。

しかし介護保険は保険料、利用料が増え、サービスの後退、施設不足等、負担あって介護なしの状態が進行しており賛成できる内容ではなく反対である。

賛成討論

麻生安夫議員

睦沢町は65歳以上の占める割合もサービス利用者も増加し、給付費も10年間で1.9倍に増えた。

町は各種介護予防事業を展開しており、閉じこもり予防教室、いきいき脳の健康教室を開催し成果を上げている。ボランティアとしての介護予防推進員の養成、一般高齢者や要支援・要介護認定者に対し地域包括支援センターの訪問介護が充実してきていることも評価する。給付費抑制のため介護予防事業のさらなる充実を望み本決算に賛成である。



介護予防推進員による出張予防教室

後期高齢者 医療特別会計

反対討論

市原時夫議員

年齢による差別といえる制度をどうして残しておくのかという思いがある。後期高齢者が安心して暮らしている、そして日本経済の発展のためにもこの制度をやめるべきであり反対である。

論

賛成討論

市原裕一議員

保険料は所得水準に応じ均等割額の軽減と所得割額の軽減が行われた。また人間ドッグ助成事業を取り入れており一定の評価をし、賛成である。

討



岩井地区災害復旧か所

こんなことが 決まりました

(承認第1号)

平成25年度陸沢町一般会計補正予算(第3号)の専決処分

752万4千円を追加し、補正後の予算額を35億3千914万8千円としました。

主な歳出は、10月に発生した台風26号及び10月20日の豪雨等による災害復旧関連予算です。

質疑

荻野新衛議員 安易な専決処分ではないか。臨時議会

で対応できたのではないかと。総務課長 3回にわたる連続災害と、予備費が少なかつたこともあり、専決処分を取らざるを得なかつたということ。

町長 過去の災害対応から見ても専決処分という認識でしたが、議会の総意があるなら、見直しもやぶさかではありません。

市原時夫議員 災害復旧は

まとまって専決するのではなく、一日も早くが原則ではないか。また、橋は大丈夫でも橋の構造などが原因とも考えられる災害もある。橋自体の改良は。

町長 災害が連続し、作業が重なつたためですが、緊急対応は行つております。橋の要望もしましたが、

長生土木で認められませんでした。

(議案第1号)

陸沢町職員の再任用に関する条例の制定

職員の再任用について条例の制定が必要ため新たに制定するものです。

質疑

市原時夫議員 この制度を

生かす基本的な考え方は。町長 職員が年金をもらうまでのつなぎを作るとい

のが目的です。

総務課長 今回から雇用と年金の接続ということで本人の希望により町村が雇わなければならないということになりました。

今関澄男議員 再任用した場合、職員の適正人員をどう把握するか。

町長 フルタイムは町の定数条例の定数に入ります。短時間であれば入りません。事前にそれらを把握しながら新規採用を行つていきます。

(議案第2号)

陸沢町使用料条例の一部を改正する条例の制定

国は平成26年4月から消費税を8%に引き上げることに決定しました。消費税率改正に伴い、行政財産や施設の使用料を改正するものです。

質疑

市原時夫議員 使用料に一律に消費税をかけるという

根拠はどこにあるのか。総務課長 消費税法の一部を改正する法律が決定し、

それに基づいて使用料を改正するものです。(6)

今関澄男議員 端数が出た場合の計算方法は。総務課長 10円以下の端数を切り捨てて今回計上して

(議案第3号)

町道路線の廃止

213号線については、10号線へ全部編入することによる廃止です。

(議案第4号)

町道路線の認定変更

10号線については、213号線を全部編入及び道路幅拡張をすることによる認定変更です。



大護摩祈願 (弘行寺)

こんなことが決まりました



アフタースクール

(議案第5号)

平成25年度陸沢町一般会計補正予算(第4号)

142万2千円を追加し、補正後の予算額を35億4千57万円としました。

歳入は、自立支援事業にかかる利用者数の増加、地籍調査事業補助金等の増による追加です。

歳出は、議会だより縮刷版作成費、福祉費で福祉タクシーの助成金額及び助成の拡大、自立支援事業委託料及び介護保険特別会計への繰出金の追加です。教育費で学習アドバイザーにかかる費用を新たに計上しました。

質疑

田邊明佳議員 議会だより縮刷版はどういった経緯で

予算化されたのか。

議会事務局長 議長の命のもとで、広報縮刷版と同様に議会だよりも創刊から35年経過しているので予算計上しました。

議員 全戸配布するのか。

局長 広報と同様に全戸配布を考えています。

議員 議会だより縮刷版は広報むつざわ以上に町民の理解を得られないと思うが、

議長 この機会に30周年で発行しなければ今後10年たつてからでは遅くなるというところで議会だより編集

委員会、議会運営委員会でもお話しさせていただきま

した。編集委員さん方の苦労が一冊になって全戸に配布になる。素晴らしいことだと思います。

市原時夫議員 議会だより縮刷版発行は編集委員会で正式議題にならなかったと思うが。

議長 私がご挨拶の中で作りたいと話させていたいただきました。

荻野新衛議員 補正を見て議会だより縮刷版の発行を知ったが、議長の一存で予算化ができるのか。議員を招集し会議を開くべきだったのでは。

議長 先般全体会議の中で議題にしなかったのは私の責任です。

議員 広報むつざわ縮刷版で様々な意見があるが、町はそれを精査し、反省もふまえて議会だより縮刷版の予算をだしたのか。

総務課長 広報の縮刷版は町として後世に残って効果があるかと判断しております。また、議会だよりも同様だと思えます。

議員 議会だよりの版權、著作権はどうなっているのか。

議会事務局長 著作権および版權は陸沢町議会にあります。

市原時夫議員 防災行政無線の屋外子局の更新工事は双方向システムで進めていたと思うが。

政策企画担当主幹 おおむね30局ありますが、双方向通信だと毎年50万円の電波利用料がかかり、また工事費が5千万円ほど上乗せになってしまいますので今回は双方向通信ではなく整備とさせていただきました。

議員 デジタル化を進めるという大枠の構想の中で議会は了承したが、計画の変更があつたならば新たな議会の合意を得るべきでは。

主幹 当初デジタル化すると双方向システムができるという説明でした。今年度の予算計上で情報の伝達が容易にできるようにWiFi環境の整備をするということで、今回の子局の双方向通信は見送りしました。

議員 できるといっただけでやるとはいってないという議論は通用しないのでは。



歓喜寺節分会

議長 他の手段を使って経費的に安くできる方法を今回は取らせていただきましたのでご理解ください。私どもの説明が足りず反省をしております。

田邊明佳議員 福祉タクシーだと利用できない方が出ると思うが。

町長 現状では福祉タクシーをうまく利用しながら幅を広げて対応した方がより交通弱者を拾っていただけると思えます。

(7)

こんなことが決まりました



市原時夫議員 福祉タクシー助成だが、交通弱者という視点で大きく対象を広げるという意味で適切ではないのでは。

政策企画担当主幹 デマンドですと他市町村の状況を見ましても収支率が非常に低く、また運行も町内に限定されるため、目的地まで活用していただける福祉タクシーが有効と考えました。
議員 交通弱者への視点がないのでは。収支だけを考えるならば地方自治法第1条の福祉を保持するという考えに反するのでは。

町長 デマンドでは国の制約がいろいろあり、町外への利便性を考えると福祉タクシーの方が良いと判断し

ました。
議員 これまで対象にあつた人が除外される。その交通弱者にどう対応していくのか。

町長 福祉タクシーの利用について「その他町長が認めた」という項目を追加し妊婦の方等にも広げたということとこちらの方が利用しやすいと判断しました。

今関澄男議員 現在大上地区で行われている地籍調査の委託料が、当初予算より多くなっているが。

生活環境・地域整備担当主幹 予算が足りなくなったのではなく、計画の前倒しによるものです。

幸治正雄議員 中学生海外研修委託料だが、今回は中止になったと聞いたが。また来年度に向けての考えは。

教育課長 実施時期について一考を要するかと思いますが、26年度に多くの方が参加していただけるような形で実施したいと思います。

議員 時期が悪いからか。
課長 そういった意見もありましたが、今回2名の応募しかなかったのは昨年度

前倒しで参加していただいた事情もあるかと思えます。

田中憲一議員 住宅助成費の住宅リフォーム補助金だが、業者に関して基本的に町内なら許可という形を取っているが、施工主の不利益にならないように業者の線引きはしているのか。

生活環境・地域整備担当主幹 リフォームについては町内の建設業、個人の事業者も対象にしています。線引きはしていませんが、事前に見積もりをいただいで判断材料にしています。

議員 消費税アップに向かつての今年度分リフォーム見込み数と金額は。また、その金額の裏付けは。

町長 現在まで16件ありました。また予備を見込んでの金額で136万円という額を計上しましたが、国県の補助の上限の金額であり、見込みというよりも今後当然あるだろうという中で計上しました。

議員 もう出ないという線引きがされたかと考えて良いのか。
主幹 今回の補正で最後と

考えています。

市原重光議員 住宅助成費だが、今年度新規事業で予測がつかない面があつたにしろ補正のしすぎではないか。

生活環境・地域整備担当主幹 精査しまして26年度はさちつと挙げたいと思います。

議員 確認だが助成は国と町2分の1か。また確認検査はやっているのか。

主幹 補助金はその通りです。工事の検査は工事完了届を出してもらった段階で現地に職員が行って確認しています。

議員 コミュニティ・プラントの委託料を今回減額した。緊急性のある所を補修で補っていくとしているが、いずれどこかで精査しないと大きな費用もかかると懸念される。町長の考えは。

町長 全部をやると多額になるため補助事業を探して対応したいと思います。全体の修繕工事の詳細設計については今回見送り、緊急性のある所だけを対応させていただきます。

反対討論

田邊明佳議員

この補正予算に問題を感じるのは議会だより縮刷版だ。広報むつざわ縮刷版発行で町民の批判が出ているなか、議会だより縮刷版をだすのはいかがなものか。記録が見たいのであれば議事録を見れば良いことだ。可決された予算には我々も責任があり、我々は住民の代表である。町民のためにならないと思われる事業が組み込まれたこの補正予算に反対だ。



地籍調査(大上地区)

こんなことが決まりました

賛成討論

市原重光議員

いろいろな意見があるなか、全部が全部駄目ということもないと思う。自分の先祖が30数年前にこういうことに携わってきた実績を残したことをご家族が初めて知り自分達も頑張らねばという話もあった。

いろいろな意見があったが修正しなくても良いと思う。全ての睦沢町のあり方については責任を持ってやっていく。今回についても予算通りにやるべきと思う。そういった面から賛成である。

反対討論

市原時夫議員

私は議員になってから議会だよりにほとんどかかわっている。先輩方のご苦労もわかるし、歴史的な資料としても役割はあると思う。

しかし、それだからといって全戸に配布することはないと思う。インターネットや図書館という形を取った方が良いと思う。

また仕事、福祉、医療の問題も含めて町民は苦しい状況にある。

これだけの金額を使って良いのかを考えると反対である。

反対討論

荻野新衛議員

広報むつざわ縮刷版は圧倒的にノードという声が多い。広報むつざわ、議会だより両方で一軒当たり7千円かけるだけの効果があるのか疑問だ。

議会だよりは議会ごとに発行、配布している。飾りのためや懐古のためにこれだけの投資は必要ないと思う。

住民の幸福度を考えると、この補正については反対である。



出初式

(議案第6号)

平成25年度睦沢町介護保険特別会計補正予算

116万3千円を追加し、予算額を6億9千364万3千円としました。

歳入はアンケート調査にかかる繰入金等です。

歳出は、来年度に予定している高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画策定に伴う日常生活圏ニーズ調査委託料などです。

質疑

市原時夫議員

アンケート内容は、介護保険制度の変更を知ってもらった上で、現状と変更についての意見や自由意見としても回答できるようにすべきでは。

また、業者委託ではなく、町独自でできないのか。健康福祉課長 制度が変わることについては説明をしていきたいと思えます。

アンケートには町独自のものも加えています。自由意見もあります。

町長 丸投げ委託ではなく、クロス集計など込み入ったところだけ委託します。

(議案第7号)

平成25年度かずさ有機センター特別会計補正予算(第2号)

190万円を追加し、予算額を3千333万8千円としました。

歳入は、たい肥売払収入の増加で190万円の追加です。歳出は、ふん尿回収量の増加による事業費の増です。

質疑

市原時夫議員

新たに、ニンク生産を行うとのことだったが、状況は。

地域振興課長 たい肥センターの熱を使っている、黒ニンク生産を千葉大学で実験をしています。

荻野新衛議員 たい肥センターで事故があったが、雨などによる湿気も原因ではないか。周辺に溝やU字溝など設置すべきでは。

地域振興課長 たい肥の袋詰め作業中、ベルトコンベアーの様子を見ようとあがった時の階段の踏み外しによる事故でした。入院しましたが、退院し今月中お休みということでした。

滑らない工夫など安全対策をします。

(議案第8号)

長生郡市広域市町村圏組合規約の一部改正

長生農業研修センターの老朽化による、解体・廃止による、規約の一部改正への議決を求めるものです。

質疑

市原時夫議員

取り壊し後の、土地利用の計画は。町長 長柄町から購入したものであり、買い戻してもらいたいという意向のようです。



かずさ有機センター

減反が廃止される 水田農業の方向付けは

町長 集落ごとの営農組合を考えています



成人式で配布された梅の苗木

5年後約半世紀にわたる減反が廃止される。水田農業を取り巻く環境は非常に厳しくなることが予想される。国の細かい指針等出ていないが、町としてどのような方向付けを考えているのか。また、農業活性化推進基金の用途、時期について伺いたい。

町長 地域の実情を踏まえ町内全域をいくつかの営農組合でカバーできるような独自の集落営農マニュアル等の作成や集落のリーダーの育成など6月までに各集落に説明を行いたいと考えます。

また、基金については各農業関係者との意見の集約を図っているところです。本年度中に支援概要を作成し、活用できるような進めま

町長 再度部内で協議をしましたが、各記念行事の思

い出は皆さんの心の中に残る。残すということ、これを契機にふるさと陸沢を思う心を再認識していただき、共に歩んでまいりる所存です。

議員 昨年学区検討委員会を設置するという説明があった。諮問され答申するという会に教育委員さんが4名入っていて、ビックリした。教育委員さんは、委員会の仕事・責務がわかっているのか。教育委員、委員会は今後ますます重要な位置付けと思うが適正な推薦であったのか。

町長 行政運営や教育行政を長きにわたり務められ、豊かな知識と経験、優れた人格を兼ね備えた方を選任しています。



瑞沢小のたこあげ風景

議員 町の教育上の課題についての認識について、ドジョウつかみのような答弁でなくきつちりした答弁を。

教育長 課題は、児童生徒の減少に伴う学校の規模の適正化、学力の向上、施設の老朽化などではないかと考えています。

これらの諸問題を解決するための方策として町学校

議員 町の教育上の課題について、ドジョウつかみのような答弁でなくきつちりした答弁を。

教育長 課題は、児童生徒の減少に伴う学校の規模の適正化、学力の向上、施設の老朽化などではないかと考えています。

等問題調査検討委員会、教育委員協議会により調査検討を行っています。

町政の 課題を問う

教育上の課題は

学校規模の適正化、学力の向上、施設の老朽化

一般質問

市原 時夫 議員

町の誇り学校給食の
自校方式をなくすな

教育長 土睦小と中学校を1つに

町長は、若者定住を中心政策としているが、子育て支援の町として学校給食自校方式は、それぞれの発達段階や条件に対応できる。ランチルームなどとともに卒業生・町の誇りではないか。食物アレルギー対応も含め、維持し拡充すべきでは。

教育長 食物アレルギーの児童・生徒へは、除去食で対応しております。中学校給食施設の老朽化に伴い、睦沢町学校等問題調査検討委員会で、ご意見をいただき、土睦小学校で睦沢中学校の分も一緒につくる親子方式を現在教育委員協議会で検討しています。

東千葉メディカルセンター支援より長生病院の充実を

運営費は国や県が負担すべき

議員 東金市に4月オープン予定の、東千葉メディカルセンターの運営への財政支出を県が、近隣市町村に求めたとの報道がある。法的支出義務のない要請であるのに、定額か利用率か二者択一を迫る強引なものだ。

県立病院をつぶしての建設計画は、地域自治体はじめ、関係機関からも異論が出ていた施設であり、長生病院の弱体化につながりかねないものだ。

それより、24時間完全救急体制や小児科・産婦人科



メディカルセンター

をはじめ、長生病院の充実にこそ最優先にすべきではないか。

町長 東千葉メディカルセンター建設は、地域の合意なしに進められたものであり、アンケート調査には長生管内の市町村はほとんど回答しなかった模様です。本町は、国や県が負担すべきであると回答しました。

短期保険証は窓口交付を前提にすべきではない

子供の場合は検討します

議員 国保税の滞納者へ短期保険証交付は、窓口交付となっている。しかし、国は保険証が渡されないことのないように、郵送での交付も認めている。

近隣自治体でも、郵送で行っているところもある。

本町でも、郵送での交付をすべきでは。また、子供の場合は、正規保険証を郵送で行うべきでは。

町長 短期保険証の窓口交付は、滞納者との納税相談や納税指導の必要から実施しており、高収納率の維持につながっています。

しかし、子供の場合は、近隣市町村の状況や動向を踏まえて今後検討します。

議員 後期高齢者医療制度で、低所得者への保険料特例措置廃止の動きがある。新たな負担増に反対すべきでは。

町長 今後、国の動向に注視してまいります。



給食棟

議員 町制施行30周年は、行事だけでなく、住民と共に、子育て支援、自立のまちづくりなど町民と町が未来に活かす位置づけを明確にすべきでは。

町長 合併問題などでも、町民みなさんの睦沢町への思いは深いと感じました。今後も町政に活かしていきます。

議員 広報縮刷版の発行だが、まとめることは必要だが、全戸無料配布ではなく、要望する方に安価で販売すべきではなかったか。

町長 すでに第一巻は、同様に配布されており、今回の二巻三巻は、作成部数を少なくしても委託料に大きな変化はないため前回同様全戸配布にしました。

資源ゴミ持ち去りへの対応は

町長 警察と連携したパトロールの実施



ゴミ集積所

新聞紙等の資源ゴミが集積所から持ち去られているが対応が必要では。

町長 広域市町村圏組合によると以前茂原市周辺で資源ゴミが持ち去られるケースが頻繁にありました。パトロールを実施し、発見した場合口頭で注意し、それから持ち去り行為、通報件数が減少したとのことです。警察と連携したパトロールの実施、住民へは前日や夜間はゴミ出しをせず、収集日の8時30分までに出すよう周知徹底に努めたいと考えます。

野菜生産のための補助金はいかされているか

指導助言により生産性の向上をめざします

議員 山岡ファームへ野菜生産のための補助金が出たと聞く。

しかしながら野菜の生育状況等を見ると取り組みが不十分な気がする。目的に沿ったものにすべきと思うがどうか。

町長 上市場、北山田地区の耕作は平成25年7月に長生あおば農園に移行されています。

町では県農業事務所と協力し営農相談ならびに技術指導を月1回開催し作物の作付や生育状況について指導助言を行い、適正な管理と生産性の向上を目指しています。作物の作付や施策を含めて農地の活用を進めており、より適した品種の育成に一層努力するよう指導協力をしてまいりたいと存じます。

り、仮置き場としています。管理等は利用者の協力を得ながら農業用機械管理規定に沿って運用してまいります。機械整備、安全な保管に一層の注意を図ってまいります。

大型トラクターは役場で管理すべきでは

利用者の協力を得ながら運用してまいります

議員 耕作放棄地再生利用交付金による大型トラクターは、山岡ファームにおかれているが役場で管理すべきでは。

町長 大型トラクターは、大型のアタッチメントもあり保管場所には苦慮しているところでは。

現在一番使用頻度の高い長生あおば農園の敷地を借

用した。補助金の使い道がトラクター、アタッチメントの修理と聞いたが使用料も含めた収支はどうなっているか。



町長 平成24年度決算では歳入が119万6千円で補助金・使用料・繰越金です。そのうち使用料は19万5千円です。

歳出は修繕にかかるもので38万円、繰越金はサイドカッターの修繕を予定したことによるものです。

議員 トラクターを一般の土地の草刈りに使用できないか。

町長 一般雑草地整備への活用は、本来耕作放棄地解消等の目的で購入したもので難しいと考えます。しかし耕作放棄地未然予防の意図から協議会等で検討してまいりたいと思います。

一般質問

田邊 明佳 議員

女性の登用への取り組みは

町長 各組織に女性の登用が進むよう視野に入れながら

新聞報道にて千葉県内の防災会議における女性委員数が報道されたが、54市町村のうち16市町村に女性委員がおらず、睦沢町は、女性委員のいない町として報道された。

女性委員の登用についての取り組みはどうなっているのか。

また関連して、役場の女性職員の幹部育成等について進捗状況を伺いたい。

町長 防災会議における女性の登用ですが、各組織の代表の方をお願いしており、現在女性はおりません。

今後は各組織にも女性の登用が進みますように視野に入れながら進めてまいります。

限られた職員の中で女性幹部の登用、育成については即座に成果があらわれるものではないと思います。長い目で見ていただけたらと考えます。

議員 防災会議は他自治体では一般の方も入れているような話も聞かすがそういった考えは。

町長 検討させていただき

食品表示法への準備は

生産者への支援を検討してまいります

議員 食品表示法が平成27年に施行される見通しですが、準備を進めているのか。

町長 具体的な基準等の決定があれば速やかに事業者

に周知すると共に説明会を予定したいと思えます。また、農業生産物の販売促進

に影響のないよう、表示成分等の分析についての支援を検討してまいります。

睦沢町の橋梁補修の今後は

限られた財源の中で選択と集中で

議員 台風による災害で長楽寺地区の榎戸橋が通行不

能になった。町は以前指摘した時に看板等をたてるなどの対策を取らなかった。

榎戸橋は建設から40年を超える橋であり睦沢町には同様の橋が多くある。町長

は橋の点検補修を早く行うことにより長寿命化を図るといつていたが、現在補修の進んでいる橋とこれからの予定、危険と思われるか

能になった。町は以前指摘した時に看板等をたてるなどの対策を取らなかった。榎戸橋は建設から40年を超える橋であり睦沢町には同様の橋が多くある。町長は橋の点検補修を早く行うことにより長寿命化を図るといつていたが、現在補修の進んでいる橋とこれからの予定、危険と思われるか

が施行されたらもう加工品は出したくないという声もある。旬の物を使った加工品等も検査に出している間に旬が終わり商売の機会を逃すこともあるかと思うが。生産者の不便や不安をいち早く取り除く方策は。

町長 生産者の不安は十分承知しております。検査機関に生産物を出す場合にその支援を検討します。



所への対策等伺いたい。

町長 榎戸橋右岸道路の被災は、現在公共土木災害復旧事業の申請を行い、来年1月に災害査定を受けます。

橋梁の補修は古宿橋他4橋の工事を行っています。残る橋梁については次年度以降、計画的に修繕工事を行ってまいります。

議員 睦沢町は大体100橋位あるが毎年4〜5橋では補修に追われている内に今回以上の不測の事態も起こりうるのでは。職員もだが、もっと素早い対応をしたらどうか。

町長 限られた財源の中で全部できればこれにこしたことはありません。選択と集中でやらざるを得ません。職員の対応については意を注ぎながら対応してまいります。

議 会 活 動 日 誌

月 日	行 事 内 容	月 日	行 事 内 容		
11月	2日	創作美術展	12月	15日	健幸むつざわロードレース大会
	2日	長生村60周年記念式典		16日	農業委員会総会
	3日	ふるさとまつり&農林商工まつり		19日	第4回議会定例会
	8日	公民館運営審議会		26日	例月出納検査
	13日	第57回町村議長全国大会		26日	長生郡町村議会議長会臨時会
	15日	県町村議会議長会第2回定例会	1月	11日	消防出初式(5支団・広域)
	17日	防災訓練(避難訓練)		12日	平成25年度成人式
	17日	市原市制50周年記念式典		14日	議会だより編集特別委員会(22日・23日)
	18日	農業委員会総会		16日	長生病院運営協議会
	21日	例月出納検査		17日	長南町ガス事業運営協議会
	25日	長生郡市広域市町村圏組合議会定例会		17日	農業委員会総会
	27日	かずさ有機センター運営協議会		17日	例月出納検査
	29日	学校等問題調査検討委員会		19日	新春賀詞交歓会
12月	3日	住民福祉大会		20日	議会臨時会
	8日	第2回睦沢逸品市		22日	茂原・一宮・大原道路の整備促進要望活動
	9日	議会運営委員会、全協、全体、議会改革	24日	後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

第1回(3月)定例会は
3月4日(火)から
開催の予定です。

詳しくは、
議会事務局 44-2510へ
お問い合わせください。



ようやく梅が咲き、雪も積もった今年の冬も春に取って代わろうとしています。町議会も、それぞれの委員会構成が一新されました。といっても我が議会だより編集委員会は4名中1名の交代でスタートしました。これを機に新しい考え方も取り入れ、さらに読みやすい紙面を目指し取り組んでいきます。ぜひ皆様のご意見をお寄せください。

T・K

編 集 後 記



議長と議会だより編集委員

委員長 幸治 孝明
副委員長 清野 彰明
委員 麻田 安夫
委員 生邊 明夫

編 集 委 員 の 紹 介